

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和3年度 第2回岐阜県立郡上特別支援学校学校運営協議会
- 2 開催日時 令和3年10月21日(木) 10:00～11:45
- 3 開催会場 岐阜県立郡上特別支援学校 大和校舎体育館
- 4 参加者  
会長 板倉 寿明 愛知淑徳大学講師  
副会長 水野 正文 郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長  
委員 池戸 節子 社会福祉法人郡上市社会福祉協議会在宅福祉課職員  
石田 紀美江 元郡上市役所職員  
玉山 隆三 ダイアトップ株式会社代表取締役社長  
筒井 美希代 卒業生保護者代表  
野田 美鈴 社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長(欠席)  
増田 雅幸 郡上市大和町栗巣地域住民  
山田 泰子 郡上市八幡町那比地域住民  
長谷川 清貴 PTA会長

学校側	高井 繁喜	校長
	吉村 智典	副校長
	安江 寿明	事務部長
	廣瀬 雅行	教頭
	遠藤 衣代	小中学部主事(欠席)
	林 哲司	高等部主事
	金田 麻巳子	教務部長(教務主任)
	横関 麻衣子	健康教育部長(保健主事)
	山下 真弥	生徒指導部長(生徒指導主事)
	深澤 文貴	進路指導部長(進路指導主事)
	磯野 沙織	地域連携部長(特別支援教育コーディネーター)

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 令和3年度前期の学校運営について

- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- コロナ禍で、実施できた授業や行事と、延期や中止した授業や行事について
- 今後の学校運営の展望について

意見1：特別支援学校への進学について悩んで入学を決めた子が、頑張っている姿を見ることができてよかった。感染拡大対策について換気以外の取組はあるか。

⇒ 空気清浄機と足踏み式消毒液を各教室に1台ずつ設置。消毒液の使用量や使用頻度等を養護教諭がチェックしている。また、学校薬剤師に、学校の衛生環境について定期的にチェックしてもらっている。

⇒ 国からの補助金で、昨年度360万円、今年度320万円の予算措置があり、空気清浄機、サーキュレーター、非接触検温器等を購入している。また、熱交換式の換気扇を設置した。

意見2：一人一人に合った授業が行われ、落ち着いて学習できていた。また、教職員が8月にPCR検査を行ったと聞き、安心できる環境であると安堵した。

意見3：コロナ禍であってもできることを見つけ、工夫して教育を行っていること、一人一人に合った授業を実践されていることについて素晴らしいと感じた。

意見4：できることを考えていくことはよいこと。若い教員たちが多いようだが、ワクチン接種が進めば後期の活動もやりやすいと思われるが、接種状況はどうか。

⇒ ワクチンの接種は任意であるが、教員を対象にした集団接種が実施されたことなどから接種が進んでいると推察している。

◎令和3年度前期の学校運営については、全委員の理解を得ることができた。

## (2) 学校評価について

○学校評価アンケートの分析結果と課題について

意見1：親との連携の項目は「わからない」と評価した。保護者は担任を思い浮かべて評価していると考えるが、委員として、学校全体を評価したつもりである。

意見2：若い教員が増えているが、挨拶などができ良い雰囲気だと感じている。

意見3：「あてはまらない」の評価について、その理由は把握しているのか。

⇒ 理由を記入する欄が無いことや無記名であるため、理由は把握できていない。学校は、オンラインでのライブ配信の授業参観など、工夫して実施してきたが、対面式の授業参観を実施できなかったことも理由として考えられる。

意見4：学校評価アンケートは、これを資料に改善点を見付けていこうという趣旨のものであることは理解できる。

意見5：学校評価アンケートについては、アンケート実施のタイミングが課題なのではないか。分掌の方針などを事前に委員に伝えておき、まず理解を深めることが必要である。

◎学校評価については、全委員の理解を得ることができた。

## (3) 令和3年度後期の学校運営について

○小学部、中学部、高等部の後期の運営について

○教務部、健康教育部、生徒指導部、進路指導部、地域連携部の後期の運営について

意見1：学校評価で見えてきた課題をもとにした、後期の取組が、児童生徒たちの成長につながることを期待している。

◎令和3年度後期の学校運営については、全委員の理解を得ることができた。

(4) 高等部作業製品の価格設定について

○新製品の展示

○新製品の価格と設定理由について

意見1：価格は市場に合わせて決めること。学校が設定した価格でよい。

意見2：新製品が登場するたびに、生徒の頑張りが形になっていることを嬉しく思う。

◎高等部作業製品の価格設定については、全委員の賛成により承認された。

(5) Gujo Smile サポーターズについて

○Gujo Smile サポーターズの活動について

○新たなサポーターを増やすことや、地域の方と共にできることに関するアイデアについて

意見1：ブレインストーミングのような別会議を行い、当社の若い従業員も参加するなどして、意見を抽出するとよいのではないか。

意見2：社会福祉協議会でも、高齢者の支え合いサポーター事業を行っているが、同じように、地域とどう関わっていくのが課題となっている。

意見3：シルバーの会（地域の60歳以上の親睦会）の会議でも、当校との交流会は今年度あるのが話題になっていた。地域に発信をするとよいのではないか。

意見4：手伝いたい気持ちはあるが、躊躇してしまう。声をかけてもらえれば、できることで手伝うことができる。学校側から積極的に提案をしてほしい。

意見5：当社は、中学校とひまわりを育てる活動を行い、共に作業することで理解が深まった。

◎Gujo Smile サポーターズについては、全委員の理解と、意見を得ることができた。

## 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、前期の学校運営、学校評価、後期の学校運営について、全委員の理解を得ることができた。高等部作業製品の価格設定は、全委員の賛成により承認された。また、Gujo Smile サポーターズについて理解を得るとともに、取組の参考となる意見を得ることができた。

会長からは、今後は、学校の状況や地域に求めることを積極的に発信し、学校の求めることと地域のマッチングや、取組の在り方を模索していくとよいなどの意見が出された。

今回の第2回学校運営協議会での意見を、後期の学校運営の改善につなげていく。